じゅんぷう広報誌（季刊）

えがお

第44号
平成31年3月1日発行

発行元（福）堀川健康会
介護老人保健施設
じゅんぷう広報委員会
平成二十年三月一日創刊

春風駘蕩～風の便り～

今年の冬は、例年よりも市内での降雪量が少なくて、比較的、凌ぎやすかったように思います。その一方でインフルエンザは例年よりも猛威を振るったようです。

さて新年早々には、八十六歳の世界的冒険家、三浦雄一郎さんと、二十一歳の女子テニス世界ランキング一位、大坂なおみさんが、メディアを独占した感がありました。南米最高峰登頂を断念した一方で、それにもめげず、九十歳でのエベレスト再征服を目指すと仰っています。大坂さんは、「私には精神的に三歳児のようなところがある…」一歳くらい成長したかな、四歳ね、おめでとう、「私」と、お話されていました。偉大な実績を積み重ねてこられたお二人ですが、片や年齢への屈従を退け朗らかに挑戦を続ける姿勢は、ひたむきな熱気に溢れ、また片や自らの弱点と成長とを幼児に擬えた言い回しには、むしろ自己洞察の冷静さとウィットが際立ち、いずれにも心を動かされました。まさしく老若男女の、熱い心とクールな眼差し、それにユーモア、とても素敵に思います。

施設長　吉田　巌

相談室よりこんにちは

今回は、住み慣れたご自宅で安心して生活して頂く為に実施している、入所中や退所後の自宅訪問についてお話させて頂きます。

【入所中の自宅訪問】

自宅訪問では、どのような住環境で、どのように暮してこられたのか等、今までの暮らしや、退所後、ご自宅でどのような暮らしをご希望されるのかをお伺い致します。ご自宅での生活をイメージさせていただけることにより、さらに効果的なリハビリや入所生活をご提案させて頂きます。

【退所後の自宅訪問】

退所後も自宅訪問を実施し、生活の状況や、お困りごとはないかなどをお伺いしています。場合によっては在宅ケアマネジャー様とも連携し、在宅サービスの調整やリハビリの期間として再度ご入所を提案することもあります。

ご自宅と施設を「行ったりきたり」することで、できる限り長く「ご自宅での普段通りの生活」を送っていただけるように支援をしていきたいと思います。

厨房コラム

お彼岸（春・秋）は、ご利用者様と一緒にぼた餅（おはぎ）を作り、おやつに召し上がって頂いています。昔から「小豆には邪気を払う力がある」「あんこと餅米、２つを合わせることからご先祖と心を合わせると言う意味がある」等、お彼岸とぼた餅（おはぎ）は関連が深いようです。

また、ぼた餅（おはぎ）は栄養価も高く、小豆はビタミンB1、カリウム、食物繊維を豊富に含んでおり、外皮に含まれるサポニンは、むくみや二日酔いに効果があります。

ご利用者川柳・俳句

梅まつり　小野小町も　何想う
四階フロア　K様・N様合作

春まだ来　空を眺めて　暖かさを待つ
四階フロア　O様

じゅんぷう取り組み紹介

「ご家族様と共に参加して頂くレクリエーション」

今年度も、ご家族様に参加して頂く機会として、祇園祭への夜間外出、たこ焼き・焼きそばの調理、お茶会、桜や紅葉のドライブ、生け花、習字など様々なレクリエーションを実施しました。特に、施設内で毎月実施している「手作りおやつ」や、二カ月に一度の「食事レクリエーション」は時間も約三十分間程度と短く、ご家族様にも参加して頂きやすいレクリエーションとして続けています。

レクリエーションはご利用者様に楽しんで頂いたり、日々のリハビリの成果を発揮して頂く場でもあります。「昔を思い出しながら」「笑顔でお話をしながら」レクリエーションを通して、ご家族と共にひと時をお過ごし頂きたいと思っています。

外出レクリエーション

じゅんぷう内でのレクリエーション

職員紹介

今回は、昨年四月に入職した五階フロア介護職、九重　敦（ここのえ　あつし）を紹介致します。

「ギターの演奏が得意です。じゅんぷうでも、ご利用者様と一緒に演奏しています。ご利用者様が笑顔になって下さったり、『また聴かせて』と言って頂けることがあり、嬉しく感じます。ご利用者様と一緒に笑って日々を過ごせるように努めて参ります。」